

# 山梨青年

YMCA NEWS

11



2023年11月29日発行  
公益財団法人山梨YMCA  
〒400-0032  
甲府市中央3-10-7  
Tel.055-235-8543  
fax055-235-8553  
www.yamanashiyymca.org  
発行人 / 中田純子  
編集人 / 風間奈月

年間聖句：何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。  
一ペトロの手紙Ⅰ 4章8節



## 「変わるために」

山梨英和大学3年 渡邊 結菜

山梨YMCAのボランティアのキーワードとしてユースリーダー会があります。リーダー会はユースアクションをきっかけに約1年半前に作られました。ユースアクションはSDGsの定める地域課題解決に向けた企画を考え、選考で選んでいただけた場合に活動を行うための助成金を頂くことができます。リーダー会は獲得した助成金で清走中とサステナキャンプというイベントを開催することができました。2つの活動を通しリーダーとして活動する上で、子どもとの触れ合いを通して変化に触れるだけでなく自分も変えられる体験をしていると感じるようになりました。

先月には東日本区でユースリーダーをしている約40名集められたユースボランティアリーダーズフォーラムに参加しました。私は発表やグループディスカッションが苦手なのでフォーラムに参加することが不安で仕方ありませんでした。それに加えて山梨県外でユースリーダーとして活動している人たちと関わるのが初めてだったのでその気持ちが高まっていました。

最終的には不安や緊張から、単純に楽しかったという状態に変わっていました。同じグループで過ごしたリーダー達が本当に優しかったこともありますし、YMCAの雰囲気がそうさせてくれたのだと本当に強く実感しました。

初めましての状況でもリーダー名で呼び合うことが当たり前だったので距離が縮まりやすかったと感じています。ちょっとしたことではありますが、私にとって距離を縮められるきっかけになっていました。

山梨YMCAの活動をして、挑戦してみないと何も分からないことを感じました。学生生活のうちに自ら挑戦をして、沢山のの人に喜んでもらえるような活動を出来るように頑張っていきたいと思っています。これからも子どもたちとの関わり、行事やイベントのなかで役割を担うことがあると思いますが、やるだけではなく学び・経験をすることが、私自身が変わることだと思いつつ活動をしていきたいです。

今年の11月は喜ばしい事にとっても「忙しい時」となりました。忙しいとは、2大イベントであるチャリティーバザー開催、次の週には、史学会 齋藤實理事長、東日本区ワイズメンズクラブ 山田公平理事をお招きし大澤英二召天3周年記念講演会/史料展示室「みずがきの家」ご披露会が行われました。次の日には、甲府YWCA・山梨YMCA合同祈禱会が行われ、インマヌエル甲府キリスト教会 岡信男 牧師よる「希望と愛を育む『共主体』」奨励をいただきました。3週目には、野の花保育園のスポーツデイが開催、園児のご家族が集いました。翌日には21ワイズメンズクラブ主催のベビーカーコンサート開催とこれまでにない賑わいの本館3階のホールでした。

これまで毎週賑わうことがなかった本館がこのような人々が集う場所となっていることに、コロナ前に戻ったと思いがちですが、視点を変えてみると県内外から多くの人々が集う場所となっているYMCAと言えます。

それぞれのイベント開催により、人々は動き、人が集い繋がる、思い出を語り、喜びを伝え、感謝を口にする姿があった会でした。このことを目の前に人々の心と社会が盛んに動き出していることを実感する瞬間でした。私たち山梨YMCAはこの瞬間に感謝して、与えられた道「今を生きる」ことを忘れずにいたいと思います。次のステージが生きやすくなるための神様からの恵みがありますようにお祈りいたします。

## 第63回山梨YMCAチャリティーバザーご協力への御礼

第63回YMCAチャリティー・バザーが11月3日に無事開催されましたことご報告させていただきます。当日は好天に恵まれ、約600人の多くの方々にご来場いただきました。地域の皆様と共に歩む地域共生社会を目指して参りました私共といたしましては、63回の開催が出来ました事に喜びを感じております。特に私どもの呼びかけにお答えいただき、多大なるご支援ご協力を賜りました企業・団体・その他の皆様におきましても、心より感謝し御礼申し上げます。

今回の収益は障がい児支援、高齢者介護事業など、山梨YMCAが実施しているチャリティー事業運営に活用させていただきます。山梨のこの地にありまして、皆様により親しまれ、社会により寄り添うYMCAとしてより一層努めてまいります。

実行委員長 荻野 清



協力者（理事・常議員・評議員・甲府/甲府21/富士五湖/やまなみワイズメンズクラブ  
ボーイスカウト）スタッフ合同写真

## 山梨YMCA 第63回チャリティーバザー報告



今年で63回目を迎えた山梨YMCAチャリティーバザー！老若男女問わず、子どもから大人までまさに'FOR ALL'を象徴するイベント。多くのお客さんにお越しいただき大盛況でした。

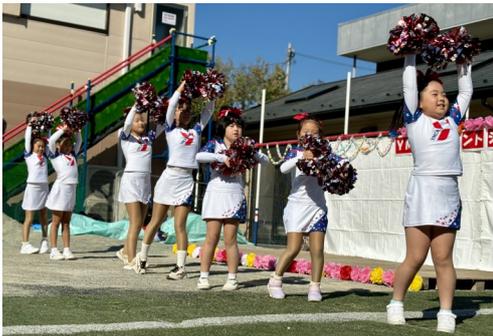


ワイズメンズクラブの方にもお手伝いをいただき、収穫した野菜を販売しました。

ユースリーダー会では、タイクラフトやトロピカルジュースを販売しました！子どもたちにも大人気！



事業所紹介パネルコーナー 事業所ごとに色が違って、カラフルな展示になりました。



チアダンスの発表も大いに盛り上がりました。



## YMCAタレントショー開催



タレントショーのステージを設け、それぞれ持ったタラントを発表する機会となりました。一般の方からスタッフまで本当に多くの方に披露していただき、会場を盛り上げてくださいました。明るい音楽が会場に響き渡っていました。ご協力してくださった皆様、ありがとうございました。

## 出店 きらプラ商店

今年で3回目のバザー参加！わがきらきらプラスは、昨年以上に気合を入れて取り組みました。

バザー当日は、種から育てたハブ茶をはじめ、みんなで作った草木染バッグ・芳香剤・チョコクッキー、ずっと育てているオリヅランなど、日ごろの活動を生かした商品や寄付していただいたお米やレタスを販売しました。

最初はあまり売れなかったけれど、きらプラの仲間と大きな声を出して、お客さんを呼んだり、作った商品のがらばったところを説明したりして、最後は想像していた時間より早く完売してうれしかったです。

買ってもらった商品の感想や手に取ってもらえた時の気持ちをみんなで共有できて、きらプラとしての仲間のきずながすごく深まって、よかったなと思いました。

\* 補足・・・「きらきらプラス（略称『きらプラ』）」は、山梨YMCAが運営する放課後等デイサービスで、甲府市下石田にあります。学校が終わった時間帯に中学生・高校生が集まり、勉強したり一緒にゲームをしたりして過ごしています。



## 「オープニングファンファーレ」甲府第一高等学校応援団吹奏楽部

甲府第一高等学校応援団吹奏楽部がオープニングに出させていただきました！！以前までは、コロナ禍で演奏する機会が少なかったため、今回多くのお客さんがいる中で演奏することができて本当に良かったです。また、私たちが演奏したヤングマン（YMCA）では多くの方がノリノリで楽しんでくださってとても嬉しかったです。演奏後は部員全員でバザーの出店を楽しみました！部員一同とても楽しむことができ、本当にいい経験をする事ができて良かったです。（開道 天音）



## ワイズメンズクラブアジア太平洋地域大会

11月3日～6日に香港で行われた、ワイズメンズクラブアジア太平洋地域大会に参加しました。そこではアジアのワイズメンズクラブの会員の方々が集まり、多くの方との交流の機会を持つことができました。私自身、山梨YMCAスタッフとして日々を送っていますが、そのYMCAを支えてくださっているワイズメンズクラブの母体の大きさに圧倒されました。日本からは83名の参加、全体の参加者は360名でした。

また私は、8月にネパールで行われたワイズメンズクラブ国際協会主催のアジア太平洋地域ユースコンボケーション（AYC）に参加し、その報告を現地で行いました。私1人ではなく、AYCの



参加国の1つである香港のユースたちと共に発表しました。8月でネパールで出会った香港ユースたちとの再会、そして共にAYCの報告ができる喜びに溢れた時間でした。

滞在期間中は、チム・シャツィ（香港）ワイズメンズクラブのメンバーである方のお家でホームステイをしました。長年、ワイズメンズクラブの事務所でボランティアとして働いており、ワイズメンに対しても非常に熱い思いを持った方でした。帰国してからも、本当にたくさんの方々、ワイズメンズクラブというコミュニティが私たちYMCAを支えてくださっているということを改めて感じる事ができました。この大会で多くの出会いに感謝し、地域、世界へ貢献する共同体でありたいと思います。（風間 奈月）



## チャイルドケア活動報告 ハロウィン



10月31日はハロウィン。プライムタイム、キッズパラダイス、甲府市放課後児童クラブ、きらきら教室合同のハロウィンパレードを実施しました！思い思いの手作りの衣装を身にまとい「トリックオアトリート」と地域の方との交流の場としてYMCA周辺を歩きました。YMCA周辺には様々なお店がある事を知り、様々な方たちと交流を図りました。子ども達にとって多くの楽しみながら学ぶことが出来ました。多くの方々にご協力頂きこの場をかり、感謝申し上げます。ご協力企業：（株）オズプリンティング様、河野スポーツ（株）様、（株）洗心多機能型重症児デイサービス笑む様、（株）地創様、（株）バズ様、（株）武藤呉服店様、CLUM（株）、noho-noho様、（50音順）

（平賀 佳雅）



# 大澤英二召天3周年記念講演会 史料展示室「みずがきの家」ご披露会

11月11日（土）に行なわれた大澤英二氏召天3周年記念講演会・史料展示室みずがきの家ご披露会は、70名以上の  
人々の参加により盛大に行われた。松村禎夫実行委員長を始めとする熱心なボランティアの方々により、2年以上に  
渡って進められてきた動きがこの日を迎えたのであった。特にハイY  
の詳細な資料は、全国のYMCAの中でも山梨にしか無いものが多く、  
大変貴重な資料と言える。そしてこの日は言わば新たな協働への始まり  
とも言え、12日のYMCA・YWCA合同祈禱会で岡信男牧師も引用され  
ていた、山田公平氏の講演の中の、ユース（若者）が中心となるが  
シニアと共に上も下も無く創り上げて行く新しい社会の、小さな拠点  
の一つとしてこの史料展示室が私には輝いて見えるのだった。

（大和田 浩二）



## ○第一部 記念礼拝



開会にあたり 岩間 孝吉氏



功刀 弘氏による奨励



野々垣 健五氏による挨拶

## ○第二部 記念講演会



山田 公平氏（ワイズメン  
ズクラブ国際協会東日本区  
理事）による記念講演会  
○大澤英二さんとの思い出  
○これからのYMCA運動は  
どうなっていくのか  
をお話していただきました。

## ○第三部 史料展示室オープニングセレモニー



齊藤 實氏（東京YMCA）による祝辞

## 史料展示室「みずがきの家」内の様子

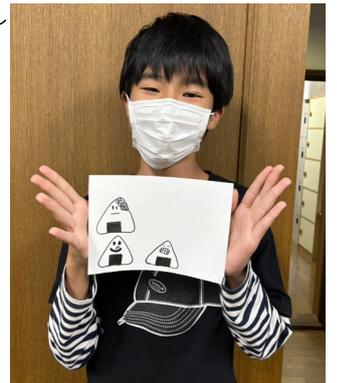


# 世界食料デー「おにぎりアクション」



山梨YMCAでは、国連が制定した、10月16日の世界食料デーに伴って「フードバンク」「おにぎりアクション」活動を行いました。世界食料デーは、世界に広がる貧困や飢餓について考え、解決に向けてできることを行おう、という日です。フードバンクでは、「フードバンク山梨」と連携しながら山梨YMCA内にボックスを設置し、食品寄付を募りました。保護者や子どもたちから多くの食品の寄付を受け、合計334アイテムが集まりました。

おにぎりアクションでは、日本のシンボル「おにぎり」の写真を特設サイト、もしくはSNSに投稿すると、写真1枚につき給食5食分に相当される100円を協賛企業が寄付し、NPO法人TABLE FOR TWO Internationalを通じてアフリカ、アジアの子どもたちに給食を届けるという取り組みです。今年のおにぎりアクションの投稿期間は、10月4日から11月17日でした。YMCAでは、その期間に合わせ「世界食料デーはどんな日なのか」と世界食料デーの導入プログラムを行いました。「世界の子どもたちへ給食を届けよう！」と子どもたちと共有し活動に取り組んだ1ヶ月半でした。子どもたち自身から「おにぎりの絵を描きたい！」と自発的におにぎりアクションに取り組んでいる様子が見られました。紙粘土でおにぎりを作ったり、工作で大きなおにぎりを作ったり、実際におにぎりを作って食べたりして、身近にあるおにぎりを使って国際貢献を行うことができました。この活動は、子どもたちへ世界へ視野を広げるきっかけとなっています。これからも、継続的に続けていきたいと思えます。(風間 奈月)



## 「アジアを学ぶタベ」PHD協会研修生来訪

「物」「金」中心の一時的援助を超えた草の根レベルでの人材交流・育成を目指すPHD協会の研修生と、ワイズメンズクラブ国際協会主催のアジア太平洋地域ユースコンポーネーション(AYC)を通して「本物のアジア」を見てきた山梨YMCAスタッフによるお話し会「アジアを学ぶタベ」を10月31日に開催しました。助産や保健衛生、栄養管理などを学ぶインドネシア出身のアギーさんと、スラムの子どもたちのために手芸品の作り方や食事についての知識、応急手当の技術を学ぶミャンマー出身のチェリーさんをお招きしました。研修生の2人は、日本で学びたいこと、そして学んだ後にそれぞれ母国へ戻った時にやりたいことを目を輝かせながらお話しをしてくださりました。YMCAスタッフによるAYCの報告、ネパールで見た現状を共有しました。日本で学び、母国へ還元したいお二人と、YMCAの子どもたちが世界へ視野を向け、何かのきっかけを子どもたちに与えられれば良いと願うユーススタッフ。お互いの夢を叶えるために一緒に頑張りましょう！とメッセージを送りました。(風間 奈月)



## YMCA-YWCA合同祈禱会

### 世界YMCA/YWCA合同祈禱会

### ～甲府YWCAと山梨YMCAの集い～

「種から花へ手を取り合って、希望と愛を育てましょう」

毎年11月の第2週目の日曜日から1週間を合同祈禱週とし祈る時を守っております。今年も山梨でも甲府YWCAと合同の祈禱会を11月12日に行いました。

インマヌエル甲府キリスト教会 岡 信男 牧師による奨励「希望と愛を育む『共主体』」をいただきました。参加者の交わりの時では、参加者の近況報告をお話いただきました。皆様からはYMCAとの思い出が語られ、山梨YMCAに連なるものとして、とても嬉しく、喜びの時となり感謝の祈りとなりました。(中田 純子)

## 御寄付者 2023年10月

雨宮あけみ	雲田恭子	武井啓一
飯田祥雄	小清水由香	山田一功
内田博	小松栄夫	由井純雄
内山秀行	清田嘉一	

大栄設備 (株)  
(株) 桔梗屋  
(株) ヒロコーポレーション  
山梨県国際交流協

(敬称略)

皆様に感謝いたします。

## 表紙の写真から



「挑戦してみないとわからない」という思いを大切にして、これからもYMCAに集い、ユースとして活動して行ってほしいですね！